

こんにちは

豊丘村議会 です



第 61 号
3月定例会
平成25年4月20日



希望いっぱい
夢いっぱい
(小学校入学式)

施設整備に大型予算……………1～3
～新年度予算を可決～
11人が一般質問 ……………8～18
委員会の質疑から ……19～20

発行／長野県豊丘村議会
編集／議会だより編集委員会
印刷／龍共印刷(株)

〒399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp

25年第1回定例会 施設整備に大型予算

一般会計 48億4,400万円と過去最高

平成25年第1回定例会は、3月4日から21日までの18日間の会期で開かれました。

3月議会の最大の任務は新年度予算の審議ですが、今回は国の補正予算に係わる大型補正予算が一般会計と簡易水道特会及び下水道特会で上程され、この3件は開会日に予算委員会で審議の上、当日本会議を再開し原案通り可決されました。

今定例会には、予算案17件、条例案15件、人事案2件、その他7件、議員発議2件が上程され、全案件が原案通り決定されました。

一般質問では、11人の議員が産業振興、健康づくり、教育など村政全般の課題について質問しました。

25年度当初予算

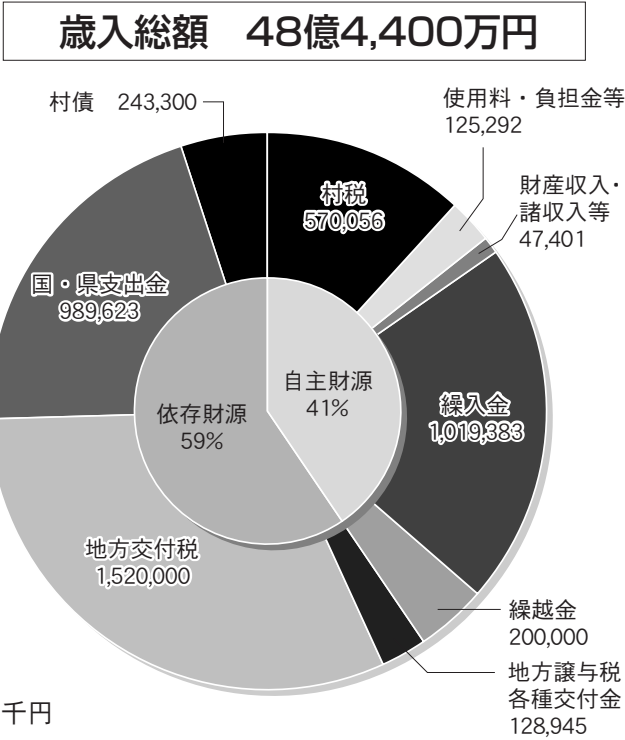
一般会計の予算総額は、48億4,400万円と、24年度当初予算比15億8,300万円増（48%余）の過去最高大型予算となりました。これは、第5次総合振興計画の目玉である社会教育施設や、戸建村営住宅の建設、村道佐原線改良工事の継続等大型ハード事業が計画されているためです。

なお、国の緊急経済対策をうけて、社会教育施設と村営住宅建設事業費で9億4,500万円を前倒しして、24年度補正予算に計上したため、実質的な予算規模は38億9,900万円となります。

25年度各会計の予算は

会計の区分		予算額	対前年度額 増減	対前年度率 増減
一般会計		48億4,400万円	15億8,300万円	48.5%
特別会計	国民健康保険	5億5,959万円	839万円	1.5%
	後期高齢者医療	6,446万円	▲194万円	▲2.9%
	介護保険	7億7,131万円	1,966万円	2.6%
	簡易水道	2億3,300万円	▲4,800万円	▲17.1%
	下水道事業	3億4,800万円	▲1,000万円	▲2.8%
合計		68億2,036万円	15億5,111万円	29.4%

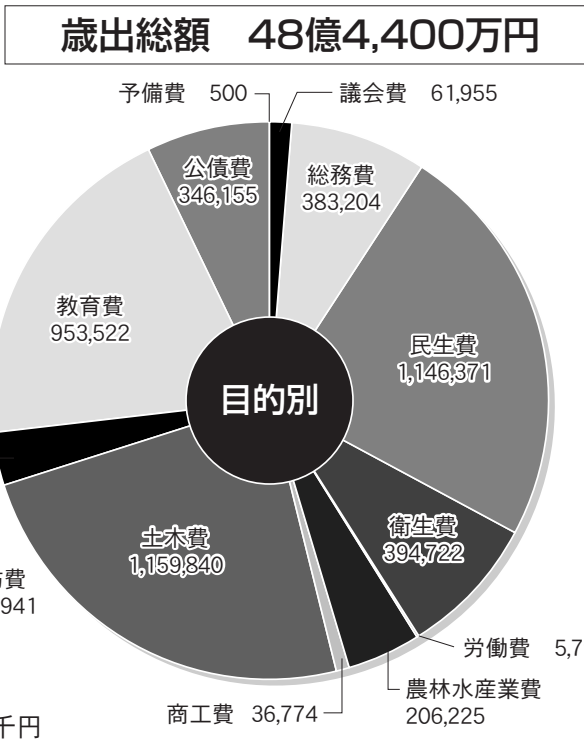
歳入



村税は、前年比4.9%増の5億70006万円、最大の歳入源である地方交付税は3.1%減の15億2000万円となりました。

歳出に見合う財源を確保するため、基金（預金）から10億1938万円を繰入れています。大型事業に対する地方負担分への国からの特別措置（交付金）により、大幅に圧縮される見込みです。

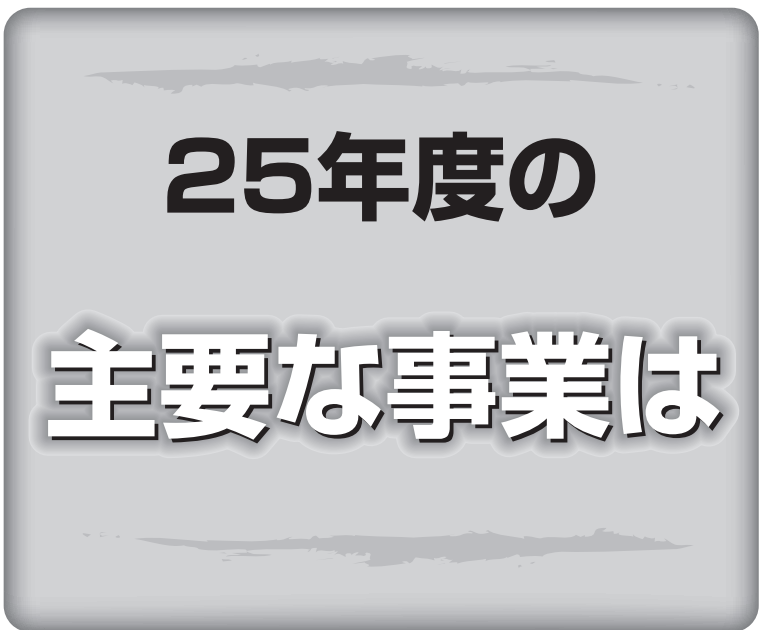
一般会計予算の内訳



目的別の内訳は円グラフに示したとおりですが、性質別にみると、普通建設事業費が20億4947万円（42.3%）と最も多く、前年の2.75倍となっています。

次いで、人件費が5億4126万円（11%）、繰入金4億6369万円（9.6%）となっています。

歳出



25年度の 主要な事業は

◎戸建て村営住宅の建設に

6億1000万円

戸建ての賃貸住宅21戸を村内4ヶ所に建設する。(大柏3戸・地藏道11戸・中部三3戸・八王子4戸)

県住宅供給公社が建築関連業務一切を行い、完成後に村が購入する方式である。

河野地区へ進出する横浜、ゴムの従業員の住宅対策も含めて実施するものです。

◎6次産業化プロジェクト事業
840万円

2年目として、農商工連携の更なる事業展開を図ると共に、推進の母体となる法人の設立を目指す

◎特養建設への補助
◎県交付金
1億3340万円

◎村補助金

4250万円

◎建設工事費

6億4830万円

◎備品購入費

4900万円

◎主要村道の改良事業
1億8375万円

「林の杜」が建設する29床の小規模特養へ交付する。村の補助は26年度も同額の4250万円を交付する。

◎佐原線林里地籍
歩道設置と法面防災

◎河野新田横断線筏地籍
巾員拡幅

◎住宅リフォーム事業
1000万円

23年度より実施している当事業は25年度も継続する。

補助率25%、助成金の上限は10万円で、村内の商店等で利用できる商品券で交付する。

◎地域ミニデイサービス事業
322万円

24年度より取り組んでいる事業を村内12会場に拡大し、介護予防を図る。

◎北部共同火葬場建設
負担金
882万円

用地買収に要する経費を、5町村の負担割合に応じて計上した。

◎堀越・長沢簡易水道
管布設替事業
1億1596万円
本管5783m
給水管 36戸分
消火栓更新 19基

◎河野農集排機能強化
事業
4400万円
24年度に引き続き、コンクリート防食工事を実施する。



佐原線、24年度の改良箇所

補正予算の質疑から

戸建て村営住宅の場所・戸数は



現在の中芝村営住宅

戸建て村営住宅の建設場所は

Ⅱ河野の地蔵道他3カ所Ⅱ

川野議員 戸建て村営住宅は、林里で3棟つくった時と同じ方式か。また、地元建築業者等が入れる余地はあるのか。

総務課長 林里と同じ方式。県の住宅供給公社が測量・設計・建築

し、完成後に購入する。この公社は住宅建設の専門で、補助事業においては十分な経験や実績がある。また、なるべく地元業者が入れるよう協議する。

唐澤議員 建設場所と戸数は。また、実際に

当村に移り住む社員の状況は。

総務課長 場所は河野の地蔵道に11戸、中部三に3戸、八王子に4戸、神稲では大柏に3戸の計21戸。土地は早期購入を要するため、農振農用地以外から選定した。

産業建設課長 昨年のとよおか祭りの前後に約100名が視察に来村した。面接の結果、70名が行っても良いと回答。ただ、定住を中心に再募集したら約40名であった。会社側の話では、3月末までにはまとめたこと。

戸当り建築単価は高いか

Ⅱ予算上は概算額、削減に努めるⅡ

唐澤議員 建物の規格は21戸すべて同じか。また、1戸当たりの建築費用は約2900万円となり、面積に比べ

高くはないのか。
総務課長 戸当たり面積は105㎡の2階建てで、中芝の戸建住宅とほぼ同じ。この建築単価は予算上のもので、今後においてそぎ落とす余地は十分にある。

農協の野菜集出荷場の内容は

Ⅱ飯伊全域から集まるⅡ

唐澤議員 農協が、今年度中に建設を予定している中芝の野菜集出荷場の内容は。

産業建設課長 花卉用の大型冷蔵

庫や野菜検品ライン等を備えた野菜集出荷場で、総工費3億2400万円程で建設する。ここで、飯田下伊那一円からの野菜・花卉・ぶど



建て替え予定の中芝選果場

松下議員 完成に向けての今後のスケジュールは。
総務課長 この予算が可決されれば早速調査を始め、今年の12月末を目標に完成物を購入したい。

うなどの振興果実を集出荷する。春先から工事にかかり10月末には完成する予定。

予算委員会質疑より

なぜ構造変更か

市田駅員の費用負担根拠は

|| 高森町との人口割りで ||

川野議員 飯田線市田駅の無人化に伴う駅員配置について、約150万円が計上されているが、その根拠と職務内容は。

村長 高森町との負担割合は、北部事務組合と同じ人口割りで算出。人選や勤務内容などすべて高森町に任せている。現在、調整中とのこと、近日中に決まる見込み。

「その後、高森町から次の連絡あり」

営業日	週の内、火・土以外の日
時間	午前7時～10時、午後4時～7時
業務	切符・定期券販売
駅員	3名で交代勤務
その他	自販機は撤去

吉川議員 職員員の海外視察研修費15万円の具体的内容は。また、研修後に報告会を行って欲しい。

総務課長 若手村職員が、見聞を広めるために海外への研修を行う。県の職員研修センター主催で、他の市町村職員と共に学んでもらう。

有人化となった市田駅



小規模特養への補助根拠は

|| 飯田市の例あり、土地相当額も ||

松下議員 小規模特養建設で「林の杜」への補助金8500万円の内、土地代相当額として2700万円が計上されている。所有名義が村でないとするばいかなものか。

村長 当初は「公設民営」としていたが諸々の理由で「民設民営」となった。飯田市でも土地代として補助した例もある。「あさぎりの郷」へは1億4000万円出している。バランス上からも妥当と判断した。

片桐(秀)議員 「林の杜」の第1期工事では、建設費が入札の結果、かなり抑えられたと聞く。入札差金が出た場合は村にも返還するべきと思うが。

健康推進委員の選出は困難さも || 自治会の状況みて柔軟に ||

副村長 村長が公約し、建設委員会でも認

めてもらった。この案で理解して欲しい。

健康推進委員の選出は困難さも

|| 自治会の状況みて柔軟に ||

前沢議員 健康推進委員制度は、小さな自治会は選任が困難なとき選任はどうするか。

住民課長 目的は、自らの健康づくりの学習と、地域の中で啓発し

てもらう。最初からガチガチのものは考えない。今後、要綱を作り6月議会に説明。8月に自治会長さんに説明して10月頃依頼。来年から活動したい。



老健「林の杜」横の特養予定地

25年度当初予算の質疑から 社会教育施設は

**社会教育施設
は当初より減額
だが**

|| 予算の制約で
鉄筋から鉄骨へ ||

川野議員 社会教育施設

設予算が総額約8億円

となった。当初より1億3000万円減額されているがその理由は。

教委事務局長 予算上の制約から、本体を鉄筋コンクリート造から鉄骨造に変更した。専門家によると、防災上問題ないとのこと。

松下議員 立派な施設ができるが、完成後には多くの村民が挙って利用できるように今から検討して欲しい。

酒井議員 日本語の指導手はどこで手伝わっているか。また、中学校の部活動の謝礼はどうなっているか。

教育長 南小学校に中国籍のお子さんがおり支援いただいている。

また、部活の謝礼は保護者会の謝金で出している。

リフォーム助成

金の内容は

|| 24年度と

同様に実施 ||

唐澤議員 リフォーム

助成金の内容は。産業建設課長 24年度で終了予定であったが、

強い要望があり新年度

も同じ内容で行う。但し、予算額は500万円

円下げ1000万円とする。

大原議員 社会教育施設

建設でリサイクルセンターが使えないが、どうするか。

環境課長 資料館北側

で宅地造成工事をやるが、当面はここでやりたい。

**新事業の通学
合宿とは何か**

|| 小4対象に

自立心を養う ||

井原議員 通学合宿費用

46万円の内容は。教育長 南北小4年生

全員を、数班に分け慈恵園等で宿泊合宿する。各界の講師の話聞き、

教育力の低下を社会全



東立面図
南立面図
社会教育施設の完成予定図



林原の慈恵園

体で補完するもの。詳細は実行委員会検討する。

唐澤議員 国保税は

7.8%上昇し低所得者は負担が重い。基金を

全額取崩して、5%以下に抑制すべきだ。

村長 見解の相違がある。上昇率や他市町村

の状況も加味してこの案とした。

**基金取崩しで
今後は大丈夫か**

|| 一部基金は
取崩さない方向 ||

唐澤議員 基金の取崩しが総額で約10億円、

今後の財政運営に支障はないか。総務課長 国の緊急経済対策で多くの補助金等が受けられるため、

財政調整基金は取崩さなくて行けそう。今回は、大型建設事業が重なった結果。今後の財政運営は、きちんと見直しをたてやっていく。

一般質問

村政を問う

ズバリ
直言

11 議員が質問

- | | |
|---|---|
| <p>1 川野 孝子 議員 (8ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶職員の給与引き下げについて (正規) ▶横浜ゴムの定住対策について | <p>7 片桐真理子 議員 (14ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶安心安全の村づくりについて |
| <p>2 片桐 秀人 議員 (9ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶凍結道路の安全対策について ▶「豊丘浄化センター汚泥流出報告書」について | <p>8 片桐 義憲 議員 (15ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶地方交付税削減についての見解は |
| <p>3 吉川 明博 議員 (10ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶特別職報酬の減額について ▶地方公務員の給与削減について ▶学校の耐震化について | <p>9 前沢 光昭 議員 (16ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶脳血管疾患の早期発見と充実を ▶村の自然エネルギーの取り組みについて |
| <p>4 大原千賀子 議員 (11ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶自治会と隣組の加入について ▶悪質商法から消費者を守る法律の一部改正について | <p>10 松下 亨 議員 (17ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶生活リズム改善運動の大臣表彰と今後の取り組みは ▶村を担う若人と人材育成の現状及び今後の施策は |
| <p>5 酒井 浩文 議員 (12ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶健康とよおか21 (第2次) の戦略について | <p>11 唐澤 啓六 議員 (18ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶地方交付税削減と公務員給与カットへの見解は ▶入札制度の改善について ▶国保税の負担軽減対策について |
| <p>6 井原 康明 議員 (13ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶三遠南信道の早期開通に向けた取り組みについて ▶6次産業化は、どの様に取り組むのか ▶6次産業と関連事業について、どう考えるか | |

次回の定例会は、
6月です。

職員の給与の引き下げは

答 7月から引き下げの方向で



川野孝子議員

質問 2012、13年の2ヶ年、国家公務員の給与を7.8%引き下げを行ったことにより、地方公務員の給与が上まわる状況から、交付税削減を引き替えに給与の引き下げを求めていると思うが。

村長 行財政改革に努めている中で人件費削減を押しつけることは遺憾である。しかし、県や市町村の状況を見ながら削減の方向で考えたい。

質問 交付税削減が豊丘村に与える影響についてこの3月をもって



来庁者に対応する職員

退任される松田副村長に聞きたい。

副村長 地方交付税を人質にとった形で介入してくるのは問題があると考える。県の動向等を見ながら給与削減については判断したい。今の予算に与える影響は大きなものではないと考える。

質問 今回の政府の地方公務員給与の引き下げと人事院勧告との適合性をどう考えるか。

総務課長 今回のことは人事院勧告がされていない特別なものと考えている。

質問 3月になっても平塚の方から何名の人が豊丘村に来られるのか、はっきりしていないが現状はどうか。

村長 はっきりとした数字には至っていない。最低限のフォローが出るよう戸建て住宅等の施策を行っていく。

質問 人数が決まらない背景があるのではないか。

産業建設課長 横浜ゴム本社としては、南信州に永住される皆さんに支援したいという方針が出たことにより、積極的な人は40名と理解している。

質問 21戸の戸建て住宅を県の住宅供給公社へ建設を依頼するというのが建築費は高つくのではないか。また、村内の建築業者には仕

横浜ゴムの定住対策と永住希望数は

答 約40人位で最低限のフォローをしたい

事が少ないのではない。業者選定について村として村内業者等を名簿に入れてもらいたいと強く言える。

総務課長 県の公社へ頼む事により事業費が膨らむ事は想定していない。



定住促進住宅 (H20建 山田)

凍結道路の安全対策に山砂使用は

答 今後の検討課題に



片桐秀人議員

質問 今年1月の積雪はその後の低温で凍結し、通行に非常な危険状態が発生した。毎年同じ状況となる日陰道がある。掘越、長沢など長距離で、エンカル手散布の対策では解消できない。この危険な状況を道路管理者としてどう考えているか。

質問 豊丘村には花崗岩崩壊土があり、昔から使われている。この山砂を使用すれば解ける、この方法は。産業建設課長 過去に使用したことがあったが、側溝整備等問題もある。



凍結して危険な長沢線

質問 1割増とは一般家庭での排水で起こる量か。環境課長 水を多量に使う食品関係の会社ではないかと推測している。



林里の浄化センター

浄化センター汚泥流出原因は 答 食品関係会社と推測

質問 昨年9月の公共下水の汚泥流出原因はつかめているか。環境課長 通常より1割増の大量流入があった。原因の特定には至っていない。

質問 大量流入は今回がはじめてか。環境課長 過去にも数回あった。

質問 水道水ならメーターで判るわけだが、自家井戸が考えられるが調査しているか。環境課長 自家井戸の調査はしていないが、水をかなり使う事業所の立入検査はしている。

特別職報酬の減額は

答 選挙での公約に基づいている



吉川明博議員

質問 特別職報酬審議会に2年間の減額を諮問した考えはどうか。

村長 選挙の公約に基づいている。委員会の費用削減、2年今任期を終わるまでとした。

質問 特別職報酬等審議会条例第2条の解釈は、当条文に「村長及び副村長の給料の額」とはあるが、教育長について諮問することはできない第2条の解釈について説明を求めます。

総務課長 第2条に教育長の諮問はないが慣例でしてきている。飯田市でも三役を諮問しているの、間違いない。

要請 村長・副村長と明確に謳っている条令で謳っていない教育長までも行政裁量で行うことは違う。特別職報酬審議会条例の第2条に教育長を加える検討を要請する。

地方公務員の給与削減は

質問 総務省のラスパインデックス100に依るのか。

村の指数103・1を100にし、地方公務員の給与水準引き下げのため交付税をカットするか。

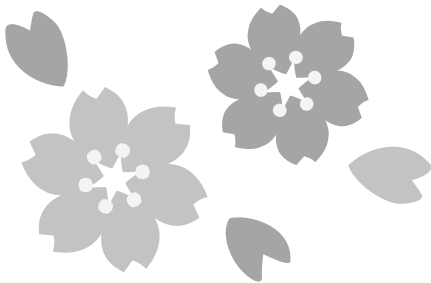
村長 他地方自治体の

学校の耐震化は

質問 全校舎と設備等の耐震化の状況は。

教育委員会事務局長 昭和55年の建設で新しい耐震基準で建設されているなかった南小学校の校舎を平成17年度8千800万円耐震診断、平成18、19年度1億5千700万円耐震改修を行い、全ての学校設備が耐震基準の耐震化を終えた。

要望 県教育委が25年度予算で見送った学校施設の震災対策を単独でも強く要請し、一日



様子も引き下げの方向と思う。指数の考え方は種々あるが職員の皆様が労働意欲を失わず市民の皆様のためにしっかりと働ける環境を作っていく。

意見 国が政策で地方に強要することは誤りだ。自主的に地方公共団体が判断をして、給与を決めるのが本来の地方自治だ。



耐震改修された南小学校

自治会隣組加入の条例は

答 条例に強制力はないが検討



大原千賀子議員

質問 豊丘村の自治会、隣組への加入状況と他町村の状況。なぜ加入しないか、未加入世帯への対応は。
税務会計課長 世帯数の内92・8%が加入で、未加入世帯は147。豊丘は近隣より加入率はよい。なぜ加入しないかは調査していない。未加入世帯には



楽しく集う自治会の仲間

個々に文書等送付している。
質問 せっかく豊丘に住んでいただいているので地域のつながりの大切さを分かっていたら、災害時も隣近所の情報が大事。未加入者にも理由があるので、アンケートを取るのはいかがか。窓口の対応も移住された方に

入るように勧め、地区、自治会に知らせて、地域の対応も必要と思う。高森町のように条例を作るのはいかがか。
税務会計課長 窓口でも対応しているが、強制できるものではない、

悪質商法改正の対応は

質問 昨今の貴金属高騰により、悪質業者の訪問購入が多発している。押売りではなく、押買い、貴金属を安く買い取っていく。高齢者や女性の被害が多い。豊丘には被害はないか。2月に法律が改正される。書面の交付義務、クーリングオフ8日間使える。大事な財産を取られることのないよう村はどんな対策をとるか。
産業建設課長 村には被害はない。飯田管内には12件ある。周知は広報等、家族の連携公民館学習やヘルパー、地域の協力が必要。不

お願いはしている。
質問 横浜、ゴムの移住者は未定だが、必ず自治会隣組に入って豊丘の良さになじんでいただきたい。移住者の方々と話し合いをされたらいい。

村長 地域の活力の源となる人口増であるので、村の住宅でもありし当然自治会等に加わりたい。村のためにならなく、条例も隣組に入るモチベーションになれば検討する。

審な事があれば情報をよせて欲しい。

悪質な勧誘

- ・突然の訪問による強引な買取りの勧誘。
- ・断ってもしつこい。
- ・「着物を買う」と電話がかかってきたが、実際は「指輪を売ってくれ」と言われた。



訪問勧誘の手口

「健康とよおか21」のポイントは

答 発症予防、重症化予防を推進する



酒井浩文議員

質問 健康と体力が資本である村長ご自身の体調と健康状態は。村長 就任前に比べ運動量が減少し、体重もやや増えたので、人間ドックの結果を見て運動を再開したい。村のため全力で働くので健康管理に気をつけたい。

質問 「健康とよおか21(第2次)」の特徴等、計画のポイントは。またこの計画の実行に向けて、村民の皆さんにお願いしたいことは。 **住民課長** 前計画の評価と、豊丘村の特徴や村民の健康状態を基に健康課題を明らかにした上で、各ライフステージに即した生活習慣病の発症予防、重症化予防への取り組みを策定した。今後は広報やホームページ等で周知を図り、事業を展開していく。村民の皆さん



はぜひ積極的に健診、保健指導等予防事業に参加していただき、発症予防、重症化予防に努めていただきたい。 **質問** 前計画の後半はメタボリックシンドロームに着目した特定検診と保健指導が重点的に展開された。前計画における結果と評価、今計画はどのような対策を講じていくのか。 **住民課長** 特定検診、特定保健指導は、後期高齢者医療制度の制定に伴い、平成20年度から5年を1期として、生活習慣病の予防を目的に行われた。豊丘村の特定健診受診率・保健指導実施率は、平成23年度は受診率目標60%に対し57.8%、保健指導率目標40%に対し63.3%であった。メタボリックシンドローム改善率は目標25%に対し29%と、健診受診者は良い結果が出ている。しかし未受診者の重症

化や、国保外の保険からの新加入者が保健指導を受けないなどの課題もある。 今後は、全村民を対象とした生活習慣病の早期予防、重症化予防を基本方針に取り組んでいきたい。 **質問** ロコモティブシンドロームとは骨・関節・筋肉などの運動器が衰えることで、生活自立度が低下し、介護状態になる危険が高くなる障害で、村でも

今後高齢化が進行する中で対策が一層重要となる。ロコモ対策は。 **住民課長** 運動器疾患の予防は高齢期のみのも問題ではなく、成長期から高齢期に至るまでのライフステージに関わる問題である。今後は各組織と連携し、身体活動の増加や運動習慣の必要性などの知識の普及啓発と、村内ウォーキングロードを活用した運動教室を推奨していく。

「健康推進員」の活動内容や期待する効果は

住民課長 「健康推進員」設置の狙いは、健康に対する自己意識を高め、自分の健康は自分で守るという、地域ぐるみで生涯にわたる健康づくりができる体制を目指している。 「健康推進員」の任務は、村が行う介護や健康問題についての学習

三遠南信道と6次産業の取り組みは

答 事業の動きを見ながら取り組む

井原康明議員



質問 昨年の秋に同事業の工事進捗状況の視察に行ってきたが、静岡県側の順調な進捗に比べ、長野県側の進捗が大きく遅れていると感じた。当村は三遠南信地域連携ビジョンの構成メンバーでもあり早期開通は産業振興において大変重要で、

より早い開通が待たれるところだが、構成メンバーとして進捗に対し助言ができるのか。
村長 去年は3つの団体で国交省名古屋整備局へ行き、陳情活動をしてきた。自由民主党の国土強靱化計画の中でも優先順位が上がるかと期待をしている。



三遠南信道（矢筈公園付近）

6次産業化はどう取り組む

答 今年度中に法人化へ

質問 先般6次産業化事業の推進状況が報告されたが、当事業組織はどの様な構成で取り組まれ、具体的なオープンはいつ頃を目標としているか。また村内拠点としている所は同時オープンなのか。
産業建設課長 認定農業者・J・A・商工会・村長推薦者・地方事務所農政課、普及センター！だいち・加工組合・産地新聞のコーディネートなど40名以上のメンバーで構成され、昨年からの活動をしている。組織内に物部会・食部会・事部会がありそれぞれ別の部会で活動をしている。オープンについては具体的な時期は不透明だが、今年度中に運営母体の法人設立を行い、事業展開をしていきたい。

三遠南信道の開通を見据えた村内の事業展開は

質問 6次産業拠点を南信州観光の豊丘村通過拠点とする考えから、佐原線の道路整備、将来のJ・A総合集荷場、天竜川架橋建設に向けた道路整備など事業の関連性を持たせ、当村も事業の展開が必要ではないか。
村長 現在長野県では、南信の交通ビジョンとして、南信の道路網の新たな企画、計画をしようとしているため、当村の事業として、いずれ必要な内容だが今は問題と捉えていない。
産業建設課長 今



商品検討が進む6次産業の内容

後も重点的に佐原線は整備を進め、6、7年で2車線の道路として整備をしたい。

他に質問した内容

- ・ 青崩峠の開通は何時
 - ・ 三遠南信道開通後の当村の期待と効果は
 - ・ 6次産業化に向けての専門家導入は
 - ・ 失敗例の情報収集は
- 要望**
- ・ 先を見据えた準備や取り組みをお願いしたい。

児童クラブの危機管理体制は

答 確認事項を取り交わしている

片桐真理子議員



JA河野支所2階の児童クラブ

質問 児童クラブは河野と神稲の2ヶ所でNPO「キープ」に委託をしている。河野の方ではJA河野支所の2階で行っており、障がい児の受け入れもされている。事故や地震等の際を考えると、神稲と比べ条件が厳しいと思う。運営委員会の状況、危機管理体制につ

いてはどうか。
住民課長 年2回の運営委員会を開き、年間指導計画、活動内容について保護者代表と審議を行い、危機管理の際の確認事項も委託先と取り交わしている。
質問 JAから河野支所周辺の開発計画が出されている。支所の2階を借りている児童ク

ラブの今後の方向は。村長 JAでは「あくり河野」が手ぎまになつたため支所を取り壊し広くしたい。その流れの中で児童クラブを支所の南側に建ててほしいということである。最短でも平成27年の建設になる流れだ。

ゾーン30の導入は 今後検討する

質問 交通量の多い生活道路や抜け道利用の車の速度を30km以下に抑える「ゾーン30」について導入の考えは。
総務課長 今まで要望のあつた所は、路面表示で対応した。新たな制度であるので視野に入れる中で交通安全対策の充実を図っていく。

保育所の耐震化状況は
3園基準を満たしている
質問 自らの判断で避難ができない幼児の通う所でもあり住民の避難所の役割を果たす所でもある。耐震化対策はできているのか。
保育所長 3保育園とも耐震基準は満たしている。改築をすることで基準を満たす建設をしてきているので耐震診断は考えていない。



高森町で導入の「ゾーン30」

一方的な地方交付税削減についての対応は

答 荒っぽい、乱暴なこととも思う



片桐義憲議員

質問 本年度の地方交付税の見込み額は、昨年度に比べ4800万円程の減額で計上され、率にして3.1%の減である。この様に、前年を下回る様な交付税措置は、小泉構造改革、三位一体改革の時を除き過去に例を見ない、異例の措置である。

本年度の歳入予算の31%余を占める重要な村の固有財源であり、地方公共団体の、財源の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスが提供できる様法に基づいて定められていることから、本村もこの10年あまり、国をはるかに上回る行財政改革の努力をしてきたにもかかわらず、一方的に削減された地方交付税についての見解を伺う。

村長 地方交付税を締め上げることは、地方の痛み、地方の個性、地方の自主性を削いで

いくことがねらいであると思われる。その時々により、国の施策も変化することやむえない。アベノミクスについては、本当に成功すればありがたい。

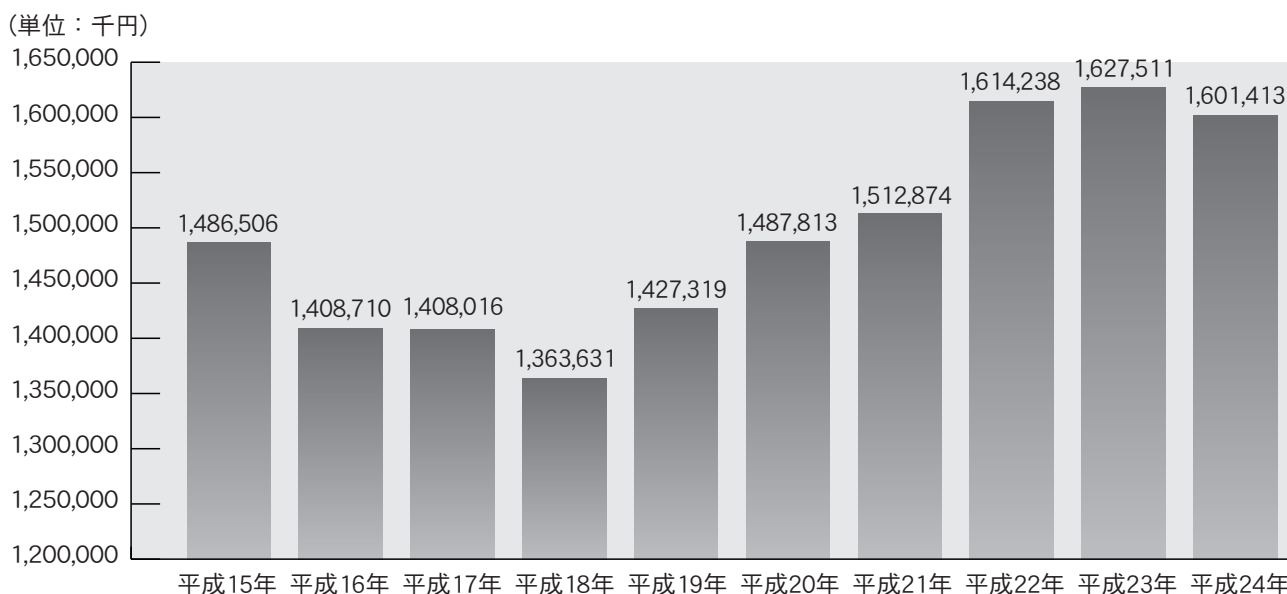
質問 国家公務員の給与減額支給措置に準じて、地方公務員の給与削減を求めることを反映しての交付税削減であり、国が地方公務員の給与削減を強制することは、地方自治の根幹に関わる問題である。また、国の政策目的を達成するための手段として用いることは、地方の固有財源という性格を否定するものであると思うが見解を伺う。

村長 交付税を人質に取り給料まで決めてくることは、職員数を少なくしながら頑張っていくこととする町村にとっては大変つらいことだ。荒っぽい、乱暴な手段と思う。理論的に正しいとは思わないが、民

間の感性からすれば仕方が無いとの気持ちもある。職員の仕事の意識低下につながる様万全を期したい。

総務課長 職員の給与について、国からの要請文書があった。かつてない事だ。今後は特別な実情という事で考えていかなければならない。交付税総額を何らかの形で確保されたことについては、国に感謝の意を表す。

年度別 普通交付税交付額の推移



脳ドックへの補助金は

答 前向きに検討する



前沢光昭議員

質問 最近脳梗塞、脳内出血などの脳疾患が増えている。この病気は不幸にして発症すれば家族も含め大きな負担になる。早期発見すればその後も健康で過ごせる可能性が高い。この検査は1回5万円前後と高額な費用がかかり検査を進められても躊躇するし、担当者も安易に勧められないため受ける人が少ない。



脳のMRI検査

「健康増進」は自治体の責務でもある。早期発見のためには脳ドックへの補助を行うべきだと思ふが。
村長 健康で過ごすためには早期発見は必要で医療費にも影響してくる。
住民課長 現在補助はしていない。理由は頸部エコー検査でもほぼ同様の効果が得られるのと、議員おっしゃる

小水力発電の取り組みは

答 手続きや費用が大変

質問 豊丘村の自然エネルギーへの取り組みは太陽光発電機への設置補助のみ。小水力への取り組みを行っている自治体もあるし、長野県も取り組んでいる。

飯田のおひさま進歩は小水力への貸付もある。小水力にとつてネックとなる水利権の申請や設置補助に本気

とおり高額の費用がかかるため。

再質問 エコー検査は安価ではある。しかし脳動脈瘤など重篤なものを見おとす可能性もあるということだ。早期発見されて健康でいる実例もあり、今後補助制度を設けてほしい。
住民課長 保健師など専門職と相談し前向きに検討する。

になれないか。
環境課長 申請前の調

査も時間がかかるし、経費もかかる上、管理の点でも大変であると思ふ。



高知県梶原町の小水力発電所

高校生との対話集会を考えないか

答 是非こちらから声をかけ、やりたい

松下 亨議員



この4月からスタートした飯田OIDE長姫高校

質問 中学生までは模擬議会など通じて村づくりのために提言もいただいている。しかし、高校生になると、関係が薄れ疎遠になってしまふ。飯田市では公民館主催で「高校生の集い」を年3回ほど行い、市長と意見交換を行っている。豊丘村ではこのような集まりがない。

これから村を担う大事な人材なので、高校生との対話集会などの企画を考えないか。
村長 「村長としゃべらまい会」をやっているが、高校生との会はやったことがない。こちらの方から声をかけて是非そんな機会を作っていきたい。

将来像づくりを若者に託したら

答 20歳代の役場職員から提案を募る

質問 リニア新幹線が14年後には営業開始され、まさに伊那谷の夜明けとなる。これにより、大都会はじめ全国各地や外国からも人が訪れる。加えて企業や教育機関も転入が予想される。これら状況に対処するため、今からリニア時代を担う若い人たちに将来の村づくり構想を考えてもらう

必要がある。そこで、「豊丘村の将来像づくりプロジェクト」など立ち上げる考えはないか。
村長 積極的な提案でありがたい。来年度に20



期待される新成人

歳代の役場職員から提案を募るやり方でスタートしたい。その後、一般の若い住民を募り、将来像を描いていきたい。

人材育成に研究集会方式は

答 6次産業化は講演会方式で実現

質問 地域づくりには、一口に「若者」「よそ者」「バカ者」が必要と言われる。豊丘村ではこの中の良い意味の「バカ者」が少ない気が

する。その原因のひとつに、いわゆる「対話集会」「研究集会」など一般住民が集まって自由闊達な意見を出し合う中で、連帯感や新し

い事業展開が期待できるのではないか。これらについての見解は。
村長 確かに以前はそういうことがあったかもしれませんが。しかし村長就任以降は、講演会方式ではあるが「6次産業化」が生まれ、多くの方々が活力ある村づくりに燃えている。

国保税均等割、18歳未満は免除を

答 全国的に全額免除例はなく、難しい

唐澤啓六議員



元気な豊丘村の子どもたち

質問 国民健康保険税が年々上がり続け、負担増に苦しむ被保険者が増えている。当村における25年度の保険税は、当初予算から試算すると1人当たり平均7.8%の値上げとなり、負担軽減のとりくみが必要と考える。

その1つの方策として、18歳未満の子ども（均等割（現行23300円）を免除することを検討すべきと考え

るが。住民課長 現在、全国的には18歳未満の均等割減免は3〜5割の減免実施が数例あるが、全額免除はないと思われる。

免除による歳入不足が生じ、結果的に他の年齢層の被保険者への負担増となること、又システム上からも経費が必要となるので、実施は難しいと考える。

再質問 税の軽減分は、他の被保険者の負担とするのではなく、

現行の低所得者に対する基盤安定事業と同様に、一般会計からの繰入でカバーすべきと考えるが。

村長 基盤安定事業は、国からの手当もあり、村の負担分もあるが、このことについても同じような制度にできないか、国へも働きかけながら考えていきたい。

地方公務員給与削減要求への対応は

答 結果的には国の要望に従う方向か

質問 国家公務員の給与削減措置をふまえ、地方公務員の給与も減額することを求めて、相当する財源を地方交付税から削減することとした国の措置は、地方交付税法に違反する行為であると考えるが、また、本村における

具体的な対応はどうか。村長 平成の大合併においても、地方交付税を悪用して合併を迫り、かなりの町村が合併をしてきた。国は今回に限らず、理不尽で勝手なことを地方に押しつけてくると思うが、今年度限り

ということであり、他町村の対応をみながら結果として、国の要望どおりになっていくのかなと考えている。（他に、入札制度の改善について質問しました。）



日々職務に励む村職員

だより

総務産建委員会

実質平均2%の引き下げに

水道条例の改正を
可決

この改正内容は、
①新しい水源を建設するための積立金分「7%」は、表流水からの取水を断念するため、徴収しないこととする。
②消費税は、内税から外税に変える。③国の地域主権一括法で事務移管された工事監督者の資格等を定めるもの。
この改正案は、水道料金徴収審議会へ諮問して検討をお願いし、昨年の12月に答申をいただいております。
なお、新水源開発基金の残高は8800万円、当面はこのまま積み立てるものです。委員会では慎重に審査した結果、全員一致で可決しました。
なお、審議の中で出された質疑は次のとおりです。

基金8800万円の用途は

将来の水源用に
積み立てる

委員 基金の今後の使途はどうするか。
回答 現時点では決まっていない。今、行っている北市場三沖の天竜川護岸工事で、自家用井戸水が止まってしまったという。リニア新幹線工事で水道水がどうなるかわからないので、この基金は当面はこのまま積み立てておく。
委員 水質の状態はどうか。
回答 硝酸態窒素は、数値が良くないところでも「8・5」程度で安定している。今後は、悪い方向でなく、徐々に良い方向になると思われる。
委員 豊丘村の水道水は硝酸態窒素の値が高いとか、白い付着物がつくなどでイメージが

村営水道条例改正

総務産建委員 松下 亨

商工業振興条例を改正

横浜ゴム(株)進出で
減免対象に

討したい。

良くない。「安全安心の水」であるなら正しい認識をしてもらうために、しっかりとPRや啓発をすべきだ。
回答 過日の自治研での講演会でも「この石灰岩を含んだ水は栄養素がある」との話。機会ある毎に誤解を解きたい。
委員 基金条例では、新水源は「表流水」となっている。今後、地下水も新水源にする可能性があるなら、「地下水」も新水源となりうるよう改めた方が良いのでは。
委員 基金条例では、今回の改正は、対象企業の条件である資本金と従業員数の上限を撤廃して、進出希望のあるすべての企業を対象にするものです。審査の結果、全員賛成で可決しました。

この条例は、企業が豊丘村に進出しやすい環境を作るため、その対象となる企業の条件と優遇内容等を定めたものです。
今後において検討



中平配水池

委員会

社会文教委員会

請願 高齢者の肺炎球菌 ワクチンに補助を

3月7日・8日社会文教委員会を開き、付託された請願1件。条例案件4件について審議しました。

「高齢者の肺炎球菌ワクチンの補助を求める」請願については審議の結果、採択しました。

高齢者の肺炎が急増する中、ワクチン接種の有効性が見直されてきています。このワクチンは一回行っておくと5年間は大丈夫というところ、接種料金は7500円。近隣の町村でも補助をするところが増えてきています。補助金額については平均5000円位。対象年齢は75歳以上が多く今は豊丘村も補助をするよう要望します。

環境保全条例を 制定

次に今定例議会において、社会文教委員会付託となった「豊丘村環境保全条例」「豊丘村廃棄物の処分及び清掃に関する条例」の審議内容について報告します。

「豊丘村環境保全条例」については昭和49年に制定された「環境を良くする条例」が時代にそぐわなくなってきたことから村として環境保全対策委員会（10人）で10回の検討を積み重ね、今回の条例制定となったものです。

この条例は、環境保全について村、村民、事業者等の責務の努力義務も根底にあり、村民からのパブリックコメントについても時間をかけ審議を行いました。

条例中に「廃屋、耕作放棄地」の記述がな

新たに環境保全条例制定

社会文教委員長 川野孝子

いという意見に対しては、廃屋であっても個人の財産であるので、村が対応するには限界があり、廃屋問題については別途、条例化も含め25年度中に検討したいという村側の答弁でした。

耕作放棄地については、農業委員会、JA等の取り組みも尊重し

ながら今後は村、地域、議会も連携を取り問題解決に取り組むべきと、委員会では条例を可決しました。

「豊丘村の廃棄物の処分及び清掃に関する条例」は、今まで豊丘村は条例がなく、新たに制定したいというもので、全員一致で可決しました。



増え続ける遊休農地

みんなの

ペー ジ

シリーズ みんなの声



片桐宮子
(大 柏)

子育て世代にも 重点を！

豊丘にお世話になって30数年になる。そのほとんどを村外で就労してきた。

幼児の成長を応援する仕事に携わってきた私にとって、やはり気になるのは子育ての中の親御さん達が、この村が好きで自然環境・人的環境・行政等の中で安定した日々を過ごしているかという点で、私の子育て時代は、望む容量に合った延長保育は無く、育児休暇明け村外の保育所に預けての就労。休日は家の事に追われ地元知り合いいもなく相談できる場もない。今で言う孤獨育児状態のものであった様に思う。お陰様に第一子が入園してからはそんな不安は全くなかった。

現在、村では人口増に向けての施策をはじめ「元気にしよう！施策」が各方面で活発化されてきているように思う。
子どもに関わるサービスも充実しつつある。そのひとつとして子

育てサロンも週2日だったのが昨年度からは週3日となった。また園長先生のご配慮で慈恵園の部屋を週1日開放して下さるなど、僅かずつではあるが前進してきている。しかし住民のニーズは？近隣市町村の状況は？残念なことに豊丘村は一歩も二歩も出遅れているように思われる。住民の小さな声を吸い上げ、公的施策として先んじて実行していくのが行政と思うし、そう願う。

今回公民館建て替えに伴ない、空いた建物を子育てサロン専用にとの構想があるように聞いている。耐震性の不安、諸問題もあるが就労している親御さんのためにも常に利用ができ、相談も出来るような支援員さんの配置なども含めて、拠点としての充実した子育て支援の場となるよう期待する。
住民を大切にす、この村ならではの村政に期待する。

編集後記

▼3月定例議会が3月4日に開会され真剣な審議や論議が行われ21日に閉会しました。特に国民健康保険税や環境条例については活発な審議が行われました。
▼3月末をもって、松田副村長が退任されました。火葬場建設に向けて大変ご尽力を頂きました。約2年間でしたが、村政を支えて頂き大変お世話になりました。
▼今月から紙面を大幅にリニューアルしました。村民の皆さんに分かりやすくお伝えできるよう委員一同努力して参ります。ご意見をお寄せください。

発行責任者	豊 久
編集委員会	下 平 亨 子
委員長	松 下 千 賀
副委員長	大 原 浩 康
委員	井 原 澤 啓
委員	酒 井 唐
委員	井 唐